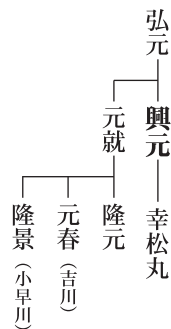


# 没後500年記念企画展 毛利興元

戦国時代初頭、安芸毛利氏の当主であった毛利興元。元就の兄であること以外はあまり知られていません。しかし、大勢力の影響を受けながらも、安芸国人領主としての基盤を築いたのはこの興元でした。彼の10年間の後の元就の飛躍に繋がったといっても過言ではありません。

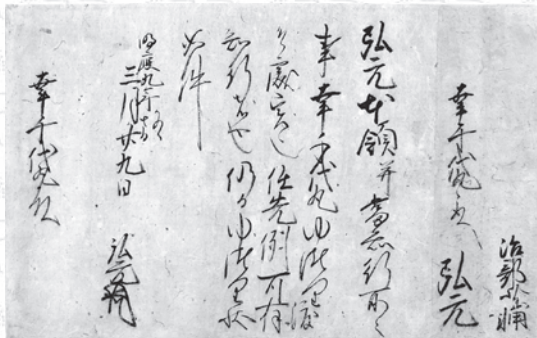
平成28年(2016)年はその死から500年。これを記念して毛利興元の企画展を初開催します。現存する興元や父弘元(1468-1506)さらに息子幸松丸(1515-1523)に関係する、重要文化財7点を含む貴重な資料を一堂に展示し、元就以前の戦国毛利氏の歴史を紹介します。

【毛利氏略系図】

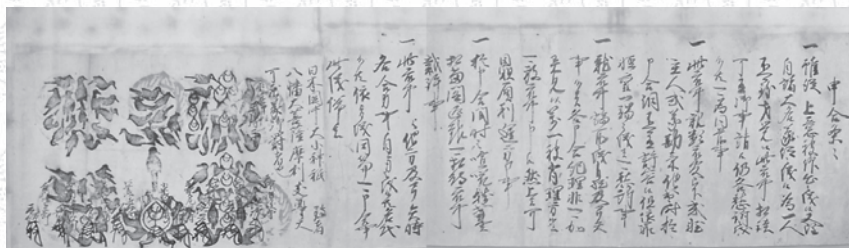


## 毛利興元 (1493~1516)

- 明応2(1493)年:毛利弘元の長男として誕生
- 明応9(1500)年:弘元隠居。家督を相続
- 永正3(1506)年:弘元死去
- 永正4(1507)年:元服し「興元」と名乗る
- 永正5(1508)年:大内義興上洛。興元も従軍
- 永正9(1512)年:安芸の国人と一揆契約を結ぶ
- 永正13(1516)年:興元死去。幸松丸家督相続
- 大永3(1523)年:幸松丸死去。元就家督相続



毛利弘元讓状 毛利博物館 重要文化財  
明応9(1500)年、弘元が興元に所領を譲ることを記す



安芸国衆連署契状 山口県文書館寄託  
永正9(1512)年、興元ら安芸の国人領主9名が、将軍や諸大名の命令には相談して対応することなど5項目を定めた契約状



興元公幸松丸君御廟之図  
山口県文書館  
江戸時代に江の川近くの興元・幸松丸墓所と伝わる場所の図



毛利幸松丸画像 日本民藝館  
幸松丸と伝わる。興元没後2才で家督を継ぎ、9歳で亡くなる



太刀 嚴島神社  
重要文化財  
銘 備前長船住国真弘元奉納名刀「稲光」

撮影:要史康

※資料保護のため、全期間展示されないものもあります。

## 《企画展関連イベント開催!》

### ●その1. 記念講演会「毛利興元」(第5回公開講座)

- 日時: 11月23日(祝、水) 13:00~16:30
- 場所: 安芸高田市民文化センター(クリスタルアージュ)大ホール
- 講演: 秋山伸隆氏(県立広島大学)「毛利興元とその時代」  
木村信幸氏(広島県教育委員会)「興元時代の郡山城」
- 申込: 不要、参加無料

### ●その3. 見学会「毛利興元ゆかりの地探訪ツアー」

- 日時: 11月5日(土)・12月3日(土)、13:00~
- 場所: 興元墓所、郡山本城、伝秀岳院跡
- 案内: 当館学芸員
- 申込: 10月12日(水)より受付開始(定員各回20名)

### ●その2. 講座/見学会(第6回公開講座)

- 日時: 12月4日(日) 10:00~12:00、14:00~
- 場所: 安芸高田市民文化センター小ホール/郡山城(現地見学)
- 講演: 宮武正登氏(佐賀大学)  
「郡山城石垣の再評価ー毛利氏の土木技術を探るー」
- 申込: 10月2日より受付開始、参加無料(定員80人)

### ●その4. 企画展 展示解説

- 日時: 期間中 毎週土曜日、11:00~11:30
- 場所: 当館 企画展示室
- 解説: 当館学芸員
- 申込: 不要